

平成26年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年11月14日

上場取引所 東

上場会社名 共同ピーアール株式会社

コード番号 2436 URL <http://www.kyodo-pr.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 上村 巍

問合せ先責任者 (役職名) 経営企画室長

(氏名) 植松 善洋

TEL 03-3571-5172

四半期報告書提出予定日 平成26年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年12月期第3四半期の連結業績(平成26年1月1日～平成26年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年12月期第3四半期	2,946	4.5	△298	—	△300	—	△343	—
25年12月期第3四半期	2,820	—	△158	—	△158	—	△88	—

(注) 包括利益 26年12月期第3四半期 △342百万円 (—%) 25年12月期第3四半期 △91百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
26年12月期第3四半期	△279.70	—
25年12月期第3四半期	△71.63	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年12月期第3四半期	2,164	643	29.8
25年12月期	2,090	986	47.2

(参考) 自己資本 26年12月期第3四半期 643百万円 25年12月期 986百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
25年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
26年12月期	—	0.00	—	—	—
26年12月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年12月期の連結業績予想(平成26年1月1日～平成26年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	4,067	1.2	△213	—	△216	—	△295	—	△239.94

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年12月期3Q	1,260,000 株	25年12月期	1,260,000 株
-----------	-------------	---------	-------------

② 期末自己株式数

26年12月期3Q	30,317 株	25年12月期	30,317 株
-----------	----------	---------	----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年12月期3Q	1,229,683 株	25年12月期3Q	1,229,695 株
-----------	-------------	-----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法の基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

なお、上記予想に関する事項は、2ページ「1. 四半期に関する定性的情報」の「(3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(平成26年1月1日～平成26年9月30日)におけるわが国経済は、デフレからの脱却の確実化、経済の好循環の実現化に向けた各種経済政策の効果などを背景に緩やかな回復基調が続いているものの、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動の長期化や海外景気の下振れ等のリスクが拭えきれない状況で推移いたしました。

このような環境の中、当社グループは、新規リテイナー契約と既存顧客からのスポット案件獲得に向けて、積極的な営業活動を行いました。

この結果、採算性の高いリテイナーの既存顧客数を維持するとともに平均顧客単価も上昇し、売上高につきましては、リテイナー、オプション&スポット、ペイドパブリシティの全サービス区分において前年同期を上回りました。特に引き合いが増加した分野は、リテイナーにおいては素材や宿泊業、オプション&スポットにおいてはエネルギーや医薬品、ペイドパブリシティにおいては金融や不動産業界でありました。利益面につきましては、前期に実施した人員整理による人件費削減の効果が奏功したものの、第2四半期で計上したWEB関連のプロジェクトに係る受注損失引当金71百万円について、当第3四半期において302百万円を追加計上することとなり、営業利益以下大幅な赤字となりました。

国内連結子会社の共和ピー・アール株式会社は、安定顧客の維持、及び新規スポット案件の獲得を図りましたが、医薬品業界の不祥事の影響によるイベント等の延期や中止による減少をカバーするまでには至らず、売上高は前年同期を下回りました。株式会社マンハッタンピープルの売上高については、今期、パブリシティ業務の受注に比重をおいているため、第3四半期連結会計期間は前年同期を下回ったものの、上半期における受注案件のヒットや新規案件の獲得による影響を受けて、累計では前年同期を上回る結果で終えることができました。

海外子会社の共同拓信公開顧問(上海)有限公司については、第2四半期に引き続き、新規スポット案件の受注数が増加したうえ、為替の影響もあり、売上高は前年同期を上回りました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は2,946百万円(前年同期比4.5%増)、営業損失298百万円(前年同期は158百万円の営業損失)、経常損失300百万円(前年同期は158百万円の経常損失)、四半期純損失343百万円(前年同期は88百万円の四半期純損失)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は1,853百万円となり、前連結会計年度末に比べ154百万円増加いたしました。これは主に、受取手形及び売掛金が128百万円減少した一方で、現金及び預金が160百万円、未成業務支出金が87百万円及び繰延税金資産が38百万円等増加したことによります。固定資産は311百万円となり、前連結会計年度末に比べ80百万円減少いたしました。これは主に、投資有価証券が6百万円増加した一方で、繰延税金資産65百万円、敷金及び保証金28百万円等が減少したことによるものであります。

この結果、総資産は2,164百万円となり、前連結会計年度末に比べ74百万円増加いたしました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は1,301百万円となり、前連結会計年度末に比べ507百万円増加いたしました。これは主に、支払手形及び買掛金の減少70百万円等があった一方で、短期借入金の増加138百万円、賞与引当金の増加60百万円、受注損失引当金の増加373百万円等があったことによるものであります。固定負債は219百万円となり、前連結会計年度末に比べ91百万円減少いたしました。これは主に、長期借入金の減少64百万円、退職給付引当金の減少28百万円等によるものであります。

この結果、負債合計は1,520百万円となり、前連結会計年度末に比べ416百万円増加いたしました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は643百万円となり、前連結会計年度末に比べ342百万円減少いたしました。これは主に、利益剰余金が343百万円減少したことによります。

この結果、自己資本比率は29.8%(前連結会計年度末は47.2%)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年12月期の業績予想については、平成26年12月期第2四半期で計上いたしました受注損失引当金に関し、当第3四半期において302百万円を追加計上したことにより、平成26年2月13日に公表いたしました平成26年12月期の通期業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日(平成26年11月14日)公表の「通期業績予想の修正及び受注損失引当金の追加計上に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	700,558	860,584
受取手形及び売掛金	769,880	641,172
未成業務支出金	135,826	223,743
繰延税金資産	56,498	94,906
その他	44,920	41,630
貸倒引当金	△9,016	△8,738
流動資産合計	1,698,667	1,853,298
固定資産		
有形固定資産	102,019	102,144
無形固定資産	5,785	5,518
投資その他の資産		
破産更生債権等	180,906	181,946
その他	283,727	203,468
貸倒引当金	△180,906	△181,946
投資その他の資産合計	283,727	203,468
固定資産合計	391,532	311,131
資産合計	2,090,200	2,164,429
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	258,038	187,978
短期借入金	147,000	285,000
1年内返済予定の長期借入金	104,136	90,736
未払法人税等	8,004	16,033
賞与引当金	-	60,828
受注損失引当金	-	373,500
その他	275,985	287,041
流動負債合計	793,164	1,301,117
固定負債		
長期借入金	156,774	92,072
退職給付引当金	120,988	92,104
役員退職慰労引当金	24,775	25,933
その他	8,058	9,276
固定負債合計	310,596	219,386
負債合計	1,103,760	1,520,503

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	419,900	419,900
資本剰余金	360,655	360,655
利益剰余金	213,920	△130,023
自己株式	△16,058	△16,058
株主資本合計	978,417	634,473
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,672	5,565
為替換算調整勘定	4,349	3,886
その他の包括利益累計額合計	8,022	9,452
純資産合計	986,439	643,925
負債純資産合計	2,090,200	2,164,429

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年9月30日)
売上高	2,820,700	2,946,292
売上原価	1,115,920	1,550,976
売上総利益	1,704,779	1,395,315
販売費及び一般管理費	1,863,591	1,694,014
営業損失(△)	△158,811	△298,698
営業外収益		
受取利息	96	174
受取配当金	347	377
受取賃貸料	2,466	2,160
保険解約返戻金	774	—
その他	1,178	1,633
営業外収益合計	4,863	4,345
営業外費用		
支払利息	3,462	5,375
売上割引	296	317
為替差損	396	—
その他	10	53
営業外費用合計	4,164	5,747
経常損失(△)	△158,112	△300,100
特別利益		
投資有価証券売却益	34,814	—
役員退職慰労引当金戻入額	29,033	—
特別利益合計	63,847	—
特別損失		
固定資産除却損	13	508
事業構造改善費用	43,668	—
特別損失合計	43,682	508
税金等調整前四半期純損失(△)	△137,947	△300,608
法人税、住民税及び事業税	2,609	14,133
法人税等調整額	△52,477	29,201
法人税等合計	△49,867	43,334
四半期純損失(△)	△88,079	△343,943

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成25年1月1日 至 平成25年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成26年1月1日 至 平成26年9月30日)
四半期純損失(△)	△88,079	△343,943
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△4,732	1,892
為替換算調整勘定	1,688	△462
その他の包括利益合計	△3,044	1,430
四半期包括利益	△91,124	△342,513
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△91,124	△342,513

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

- I 前第3四半期連結累計期間(自平成25年1月1日 至平成25年9月30日)
当社グループは、PR事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

- II 当第3四半期連結累計期間(自平成26年1月1日 至平成26年9月30日)
当社グループは、PR事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。